

活動名 「自主上映会 映画「Given ～いま、ここ、にあるしあわせ～」

1. 日時 2022年3月27日(日) 9:00~13:00

2. 場所 福井運動公園体育館 2階会議室 2

3. 内容



難病の子どもとその家族がいのちと向き合い、日々、泣き笑いしながら生きる姿を綴ったドキュメンタリー映画「Given ～いま、ここ、にあるしあわせ～」を鑑賞し、さまざまな障がい、個性や価値観を排除せずに「そこにいてもいい」「ここにある幸せ」を考え、多様性を認める社会の大切さを感じる。またお互いの個性を認めることや、障がい者が身近にいたときどう接するかを考える機会とする。

4. 参加人数 36名(小中学生、家族、社南地区社会福祉協議会)

5. 活動の様子



映画鑑賞後に参加者全員に感じたことをメッセージカードに書いて、ボードに貼っていただいた。また、簡単なワーク用紙を配布し、「障がいがあったり、生活が不自由な人が身近にいた時、あなたはどうしますか？」と投げかけ、一人一人が考える時間を設けました。

<参加者の感想>

- ・感動しました。難病を持つ家族の方々が生きている今を共有し成長していく姿が素晴らしい。たくさんの人たちに観てほしい。
- ・みんなが元気で笑顔でいられることが一番の幸せ
- ・障がいを持った子たちが周りの大人を変えていき「今が一番幸せ」と言わせる力があることを知りました。感動しました。



<参加者の感想>

- ・社会にはいろいろな人々が生きている。この社会を大切に、それが「命」とあらためて教えられた。
- ・自分のありのままの姿を認めてもらえること。一人でも自分を受け入れてもらえること。



<28 団の活動ブログ>

<http://gs-fukui28.jugem.jp/?eid=507>

6. 事業の成果

日頃の生活を忙しく過ごしている中で、この映画を見て、日々、健康で暮らせる幸せを改めて感じた様子でした。また家族で一緒にいること、何気ない「いってらっしゃい」「おかえり」と言える毎日がとても大切なものなのだと気づく機会となりました。また、共催の社会福祉協議会の方たちも、障がいや難病を持った子どもが周囲の大人を成長させてくれるのだということを伝えるよい映画だったと話していました。ガールスカウトでも多様性は子ども達に身に付けてほしいものです。映画に登場するような様々な状況の家族がいること、そしてそれぞれが「可哀そう」なのではなく、その状況の中でも幸せを見つけて前向きでいることなどを知り、一人の人間として周囲の人たちに影響を与えていることを感じることができました。